

生活単元学習 学習指導案（例）

教科、領域等により
項立ては工夫すること

- ・学習内容がイメージしやすい表現
- ・児童生徒の意欲を高める具体的な表現

日 時 平成 年 月 日（ ）
10：00～10：45（第2校時）
学部・学年・学級 小学部4年1組（4名）
場 所 小4教室
指 導 者 ○○○○（T1） ○○○○（T2）

1 単元名「おかしをかいにいこう」

2 単元設定の理由

（1）学級の児童の実態

本学級は4年生の男子3名、女子1名で構成されている。日常的なことをいろいろと話せる児童がいる一方、発語のない児童もあり、コミュニケーションや認知等の発達の状況は多様である。

児童は、これまでの学習の中で、自動販売機でジュースを買ったり、身近な商店で好きなお菓子を買ったりする経験をしてきた。買い物をする活動には大変意欲的に取り組むことができ、お金を大切に扱う態度も身に付いてきている。スーパーマーケットでの買い物については、一人でレジに並んで店員とやりとりしながら支払いができる児童がいる一方、レジに並ぶことにも支援が必要な児童もいるため、児童がスーパーマーケットでの買い物に自信をもって取り組めるように、経験を積み重ねる必要がある。

- ・設定した単元（題材）で期待できること、単元（題材）におけるねらいなど

（2）単元について

買い物は児童にとって身近な活動である。特に、児童が好きなお菓子を食べるために買い物をするということは、興味関心が高く、主体的な行動が期待できる。また、児童の将来の自立的な生活を考えた上でも、重要度の高い活動であると考えられる。

本単元では、金銭を扱うこと、買う物を選んで購入すること、お店の人とのやりとりの仕方などの学習を行う場面を設定し、自分の力で買い物ができることを目指していきたい。さらに、スーパーマーケットの仕組みや働く人についても関心をもてるようにしたい。

- ・ねらいに迫るために設定する学習活動や手立て、具体的な配慮事項、今後の生活へのつながりなど

（3）指導に当たって

指導に当たって、児童全員が見通しをもちながら活動に参加することができるように、教師が見本となる行動を実際にやって見せたり、写真やビデオを使って説明したりするなど工夫したい。また、実際にスーパーマーケットへ行く前に、教室をスーパーに見立てて買い物活動を体験させ、自信をもって買い物ができるようにしたい。また、スーパーマーケットで商品の陳列の様子を見たり働く人と接したりすることを通して、働くことに興味をもつことができるようにしたい。そして、買ったお菓子を教師や友達と一緒に食べるという活動を取り入れ、自分で買い物ができた達成感とその喜びを共に味わえるようにしたい。

さらに、同時期に、国語では関連する文字の学習、算数ではお金に関する学習などを展開することで、より生活にまとまりをもたせ、学習効果を高めることができると考えた。そして、今後予定されているお楽しみ会や校内宿泊学習での買い物学習に生かしたい。

これらの学習を通して、児童が様々な生活場面においても、自信をもって主体的に活動に取り組めるようになることを期待している。

- ・単元設定の理由と連動させる。

- ・含まれている教科等の観点及び内容を明確にする。

3 単元の指導目標

目 標	含まれている主な内容
見通しをもち、スーパーマーケットで買い物をすることができる。	生活[金銭][健康・安全][きまり][交際][社会の仕組み]、国語[聞く・話す][読む][書く]、算数[数量の基礎、数と計算]、自立活動[人間関係の形成][コミュニケーション]、道徳[主として他の人とかかわりに関すること]、[主として集団や社会とかかわりに関すること]
スーパーマーケットでの買い物に必要な店員とのやりとりをすることができる。	
スーパーマーケットで販売している品物や働いている人に関心をもつことができる。	

4 単元の指導計画（全8時間扱い）

- | | |
|--------------------------|--------------|
| (1) 買い物の計画をたてよう | 2時間 |
| (2) とちまるスーパーで買い物をしよう | 3時間（本時1 / 3） |
| (3) スーパーマーケットに行って買い物をしよう | 2時間 |
| (4) 買い物の振り返りをしよう | 1時間 |

・本時の位置を記入する。

単元の指導計画の作成にあたっては、【3 単元の指導目標】が達成できるようにする。その際、各時間の目標を明確にしておくことが重要である。

5 本時の指導

- (1) 題材名 とちまるスーパーで買い物をしよう

- (2) 本時の目標

・【3 単元の指導目標】と連動させる。

好きな品物を選んで買うことができる。

レジの場面で店員とやりとりをすることができる。

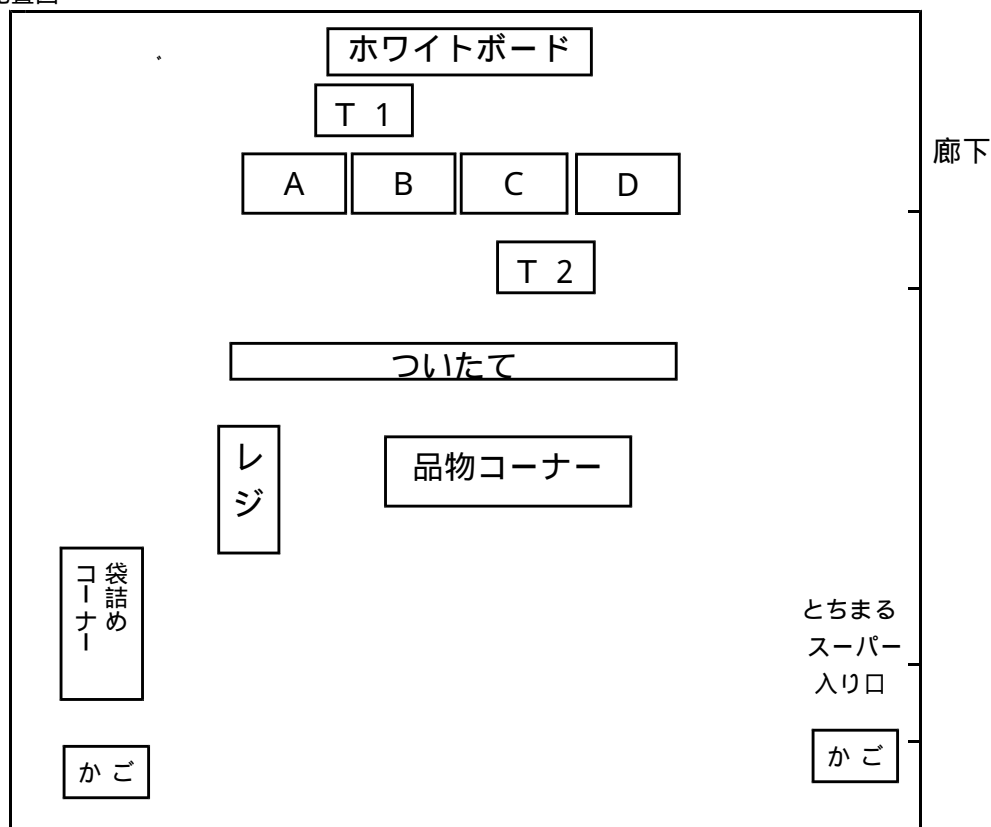
【3 単元の指導目標】は ～ までであるが、本時の目標では に対応する目標を設定していない。については、【4 単元の指導計画】(1) 買い物の計画をたてよう(3) スーパーマーケットに行って買い物をしよう で目標を達成させることにしている。

- (3) 児童の実態と本時の個別目標及び評価（別紙1）

・個別の指導計画との関連を明確にする。

- (4) 展開（別紙2）

- (5) 教室配置図



6 年間指導計画（添付資料）

本時（本単元）の位置付けが分かるように、学校で作成している年間指導計画等を添付する。

別紙 1 児童の実態と本時の個別目標及び評価

・本時の個別目標は、【5 本時の指導
(2) 本時の目標】と連動させる。
・個別の指導計画との関連を明確にする。

・目標の達成が確認できる具体的な行動を記入する。本時の
個別目標の裏返しにならないようにする。

性 学年	児 童 の 実 態		本時の個別目標	評価の観点	評価
	障害の状況等	本時に関すること			
A 男 4 年	・知的障害 ・ひらがなで書かれた短い文を読むことができる。 ・10までの数を数えることができる。 ・自分が経験した事実を教師に伝えることができる。	買い物の手順が分かり品物を買うことができる。10円玉1枚で10円、5枚で50円など、10円硬貨の枚数と対応する金額が分かる。 慣れた店舗では、レジの場で店員と言葉を交わしながらやりとりすることができるようになってきた。	レジで品物の価格に応じて支払いをすることができる。 レジの場で、店員と言葉を交わしながらやりとりすることができる。	100円以内の買い物で、ちょうどの額を一人で支払うことができたか。 自ら「おねがいします」「ありがとうございます」などの言葉を添えてやりとりすることができたか。	
B 女 4 年	・知的障害、ダウン症候群 ・具体物と写真をマッチングさせることができる。 ・写真カードなどを次の行動の手がかりにすることができる。 ・ごっこ遊びを好む。 ・行動の切替えで戸惑うことがあるが適切な言葉かけで行動することができる。	品物を選ぶことは自らできるが、レジに並ぶことについては言葉かけが必要とときがある。 身近な教師と簡単な日常会話をすることができる。	品物を選んだ後に、自らレジに行くことができる。 レジの場で、店員と身振りなどでやりとりすることができる。	床の導線を目印にして、自らレジに行くことができたか。 品物やお金の受け渡しを、店員に視線を向けながら行うことができたか。	
C 男 4 年	・知的障害、自閉症 ・ひらがなで書かれた文字カードを手がかりにして次の行動をとることができる。 ・10までの数字を読むことができる。	品物を選ぶことは自らできるが、レジに並ぶことについては教師が側にいて誘導する必要がある。 日常の決まった場面では、自分から教師に働きかけて要求を伝えることができる。	品物を選んだ後に、自らレジに行くことができる。 レジの場で店員とのやりとりを意識して行動することができる。	手順表で次の行動を確認しながら、自らレジに行くことができたか。 手順表を確認しながら行動し、店員から品物を受け取ることができたか。	
D 男 4 年	・知的障害、自閉症 ・具体物を見て、次の行動が分かる。 ・発語はないが、自分の要求を教師の手をとって伝えることができる。	品物のあるところまで行けば、好きな品物に手を伸ばすことができる。 日常の生活の中では、朝のあいさつの際に発声したり頭を下げたりすることができる。	品物コーナーで、好きな品物を選ぶことができる。 教師と一緒にレジの場で店員とやりとりをすることができる。	品物コーナーで、品物をよく見て、自分から好きな品物に手を伸ばす様子が見られたか。 品物の受け渡しの際に、教師の行動をまねして、店員に対して発声したり頭を下げる仕草を見せたりすることができたか。	

* 評価 ：達成した ○：やや達成した ：未達成

評価については、次の点に留意し、授業改善につなげるようにする。
 ・取組の状況から、目標達成の過程でどのような学びがあったのかを明確にする。
 ○：目標の達成がより確実になるために、手立て等について更なる工夫を行う。
 ・取組の状況から、目標や手立て等の見直しを図る。

展開

・教師の活動や全体に対する指導上の留意点（見通しがもてるための工夫、自ら分かって動ける環境設定など）を記入する。

	学習内容	児童の動き、 個別の指導上の留意点				指導上の留意点	準備物
		A	B	C	D		
導入 5分	1 あいさつ 2 本時の学習内容の確認 3 財布の準備	・あいさつをする。 ・本時の学習内容について説明を聞く。 ・とちまるスーパーが開店することを知る。 ・チラシの写真を見て、買いたい品物を選ぶ。 ・財布を受け取る。 ・財布の中にお金（100円玉1枚、10円玉5枚）を入れる。				・児童からの発言に丁寧に対応しながら進行する。（T 1） ・必要に応じて児童の思いを代弁し、発言、行動を促す。（T 2） ・お菓子を買って食べたいという意欲がもてるように説明する。（T 1） ・チラシと写真から、品物を選ぶようにする。（T 1） ・個に応じて、使いやすい形状の財布を準備する。 ・お金を財布に入れる様子を見守り必要に応じて一緒に行く。（T 2）	・単元の計画が書いてある学習計画表 ・とちまるスーパーのチラシ ・お菓子の写真 ・財布 ・硬貨
展開	4 買い物の手順の確認	・座席を移動する。 ・とちまるスーパーについて説明を聞く。 ・T 2 が買い物をしている様子を見る。 < 買い物の手順 > 〃 （1）かごを持つ。 〃 （2）品物コーナーで品物一つ選んでかごに入れる。 〃 （3）レジで店員とやりとりをする。 〃 店員に（「お願いします」と言いながら）かごを渡す。 〃 店員が言った金額を聞く。 〃 店員に硬貨を渡す。 〃 店員からおつりとレシートを受け取り、財布に入れる。 〃 （「ありがとうございます」と言いながら）店員から品物を受け取る。 〃 （4）袋詰めコーナーで袋に品物を入れる。 〃 （5）かごを所定の場所に片付ける。				・友達が品物を選んだり、店員とやりとりをしている場面が見えやすいように、配置を工夫する ・とちまるスーパーのエプロンをつけ、店員役をすることを知らせる。店員の立場で、とちまるスーパーについて説明する。（T 1） ・手順を言葉にしながら実演する。（T 2） ・とちまるスーパーでの初めての買い物なので、一つだけ選ぶようにさせる。 ・レジの場面では店員とやりとりをすることが重要である。B～Dについては言葉ではなく動作や仕草でやりとりできることを大切にする。また、お金の支払いがスムーズにできるように100円玉を渡しおつりを受け取るようにさせる。	・エプロン ・かご2個以上 ・レシート ・レジスター ・電卓 ・レジ袋 ・50円以内のお菓子5種類×4個以上

30分	5 買い物	・順番に買い物をする。(B → C → D → A)				・床に導線を引き、移動の目印にする。 ・レジにお金シート、手順表、かごやお金を置く場所を示す絵を設置し、児童が必要に応じて使用できるようにする。 ・店員は児童が安心してやりとりができるように、対応する。(T 1) ・B ～ Dの活動を側で見守り、児童が戸惑っているときには、必要な支援を適宜行う。(T 2) ・児童が自分の力で買い物をしている姿を認め、その都度賞賛する。	・導線 (ビニールテープ) ・お金シート ・手順表 ・かごやお金を置く場所を示す絵	
	・買い物の手順 (1) ～ (5) まで、T 1 の指導を受けながら行う。	・買い物の手順 (1) ～ (5) まで、T 2 の指導を受けながら行う。	・買い物の手順 (1) ～ (5) まで、T 2 の指導を受けながら行う。	・買い物の手順 (1) ～ (5) まで、T 2 の指導を受けながら行う。				
まとめ 10分	6 本時の振り返り	レジの場面で、レジにお金シートを設置し、必要な場合は使うことができるようにする。 店員は児童が安心してやりとりができるように見守るようにする。				教師の行動を思い出しながら活動できるように、T 2 の実演のすぐ後に買い物をさせる。 導線を手がかりに買い物ができるようにする。 児童が自発的に行動できるような言葉かけをする。	・「おいしいね」などと気持ちを代弁しながら、お菓子を楽しむことができるようにする。 ・「何を買ったの？」などと聞きながら、自分で買ったお菓子を友達に紹介するように促す。(T 1) ・買い物ができたことを賞賛し、共に喜び合えるように言葉を添える。 ・学習計画表やカレンダーなどを見せながら、次回への期待を高められるようにする。(T 1)	・学習計画表 ・カレンダー
	7 次時の予定の確認	・次時の学習内容について聞く。						
	8 あいさつ	・あいさつをする。						